

オーストリアーハンガリー戦前戦後経歴チャート

[F1] オーストリアーハンガリー軍艦長の若齢チャート(1d10を振る):

1: 1880年4月4日にダルマチアのZaraで誕生し、1894年にFiume(現Rijeka)の海軍大学に入学した。1900年6月から1901年5月まで、装甲巡洋艦Kaiserin und Königin Maria Theresia乗艦中に中国で義和団を目撃した。彼は航海術課程、海上課程、魚雷課程、潜航課程を卒業し、オーストリアーハンガリー帝国海軍の最も多才な将校の1人だった。

2: 1887年6月22日にTheresienstadtで誕生した。軍隊学校を志望し、フューメ海軍大学を1910年に卒業した。戦前は、戦艦Tegetthoff、戦艦Archduke Karl、防護巡洋艦Zenta、戦艦Kaiserin Elisabethに勤務した。1913年に、潜水艦課程試験に合格し

3: 1883年4月8日、Polaで誕生した。フューメ海軍大学を卒業後、1901年6月28日にオーストリアーハンガリー帝国海軍に入隊した。その後、フェリーBadapest、軽巡洋艦Aspern、最後に沿岸防護艦Wienに勤務した。1909年、彼は新たにPolaで編成されたUボート基地に転属した。

4: 1883年4月8日に、Polaで市長の息子として誕生した。その地で学んだ後、フューメ海軍大学を志望し、1905年6月18日にオーストリアーハンガリー帝国海軍に入隊した。1909年9月、Uボート部隊に配属された。

5: 1885年3月19日にTeplitz(現在はTeplice)で誕生した。オーストリアーハンガリー帝国海軍に勤務中、1900年から1904年までフューメ海軍大学に入学した。士官候補生として、Uボート勤務を命じられる前にTegetthoff、Babenburg、Aspernの艦上

6: 1885年12月31日、事務官の息子としてガリシアのPrzemyslで誕生した。彼はドイツのグラマー・スクールで学んだ。5年生を終えた後、フューメ海軍大学を志望して1904年に卒業した。1904~1906年にSMS Habsburgに勤務し、航海課程をパスした。後にSMS Custozaに勤務し、士官候補生課程をパスした。Custozaは中国へ送られ、そこで警備任務に就いた。帰国後、彼は1908年5月1日から1912年10月31日までPola港の副官として働いた。

7: 1886年10月31日、ダルマチアのDjakovoで誕生した。Uボート艦長になった他の多くの者と同様、彼はフューメ海軍大学で学んだ。1905年6月にオーストリアーハンガリー帝国海軍に入隊し、様々な水雷艇に勤務することになる前にS.M.S.TegetthoffとErzherzog Ferdinand Maxで勤務した。

8: 1885年8月5日、少将の息子としてViennaで誕生した。1904年6月、彼は二等士官候補生としてフューメ海軍大学を卒業した。彼は信号候補生として装甲巡洋艦Sankt Georg、後にはKaiser Karl VI、Tegetthoff、Erzherzog Ferdinand Maxで勤務した。

9: 1887年1月8日、Budapestで誕生した。1901年から1905年まで、彼はフューメ海軍大学で学んだ。士官候補生として、彼はErzherzog KarlとHabsburgで勤務した。

10: 1885年9月23日、Brixenで誕生した。オーストリアーハンガリー帝国海軍に入隊し、1906年に士官候補生となって装甲巡洋艦Sankt Georgに乗り込んだ。1907年7月に上級将校候補生の階級を志望した。1909年、彼はNajade、Tegetthoff、Babenbergで勤務した。1910年、彼は次席将校として様々な水雷艇で勤務した。